



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月13日
上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシーホールディングス株式会社
コード番号 6298 URL <https://www.yac.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 百瀬 武文
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 畠山 督 TEL 042-546-1161
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,430	13.3	94	743.7	67	△40.2	△34	—
2024年3月期第1四半期	4,792	△2.2	11	△75.5	112	△15.7	25	△67.5

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 147百万円 (△27.3%) 2024年3月期第1四半期 202百万円 (△4.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△3.74	—
2024年3月期第1四半期	2.79	2.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	41,577	16,733	40.2
2024年3月期	43,827	16,989	38.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 16,696百万円 2024年3月期 16,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	35.00	—	40.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	19.4	3,200	59.5	3,000	44.6	2,000	41.1	217.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 有
新規 1社 (社名) ワイエイシイバイオ株式会社 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	9,758,947株	2024年3月期	9,758,947株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	569,080株	2024年3月期	569,080株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	9,189,867株	2024年3月期1Q	9,175,005株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)における世界経済は、大幅な減速を回避し緩やかながら成長軌道を確保しました。米国経済は、長引く金融引き締めにもかかわらず旺盛な個人消費の下支えにより堅調に推移しました。一方、日本経済は、実質賃金の低下が継続し消費が伸びず踊り場となっております。中国・アセアン各国経済は、政府の景気刺激策により回復したものの先行きに不透明感が増しております。

当社グループを取り巻く事業環境は、生成AI、パワー半導体、データセンター関連で堅調な動きがみられた一方、不透明な経済状況を受けた顧客の投資計画の遅延をうけ、受注の先送り、納期の後ずれといった影響を受けました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高54億30百万円(前年同四半期比13.3%増)、営業利益94百万円(前年同四半期比743.7%増)、経常利益67百万円(前年同四半期比40.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失34百万円(前年同四半期純利益25百万円)となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいております。詳細は、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記) II 当期第1四半期連結累計期間の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

(半導体・メカトロニクス関連事業)

生成AI、パワー半導体関連の旺盛な設備投資に付随して、クリーンコンベアなどの各種自動搬送装置やイオンビームミリング装置の需要を取り込むことができました。半導体業界全体的な設備投資先送りの影響をもちましたが、増収増益となりました。

これらの結果、半導体・メカトロニクス関連事業の売上高は25億46百万円(前年同四半期比19.0%増)となり、セグメント利益は173百万円(同セグメント損失10百万円)となりました。

(医療・ヘルスケア関連事業)

売上の中心的な製品である人工透析機が新機種への転換期に入ったことにより、開発費用等が生じました。また、今年4月に設立した新会社「ワイエイシイバイオ株式会社」が当セグメントに加わりましたが、売上高および収益への貢献はこれからであることから、減収減益となりました。

これらの結果、医療・ヘルスケア関連事業の売上高は12億90百万円(前年同四半期比14.9%減)となり、セグメント利益は49百万円(前年同四半期比72.5%減)となりました。

(環境・社会インフラ関連事業)

産業クリーニング用装置の受注、現在開発中の脱プラスチックに資するeコマース向け紙使包装用機の受注に向けた進捗がありました。一方、電力に関連する設備投資の受注が下期に偏る傾向があるのに加え、前期の半導体部品不足に起因する前倒し発注の影響もあり、増収減益となりました。

これらの結果、環境・社会インフラ関連事業の売上高は15億92百万円(前年同四半期比40.4%増)となり、セグメント損失は51百万円(同セグメント損失24百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は415億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億50百万円減少しました。その内訳は、流動資産が306億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億13百万円の減少となりました。主な減少要因は受取手形及び売掛金20億67百万円、現金及び預金3億63百万円の減少であります。固定資産は108億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円の増加となりました。主な増加要因は建物及び構築物(純額)1億19百万円、工具、器具及び備品(純額)43百万円の増加であり、主な減少要因は機械装置及び運搬具(純額)1億13百万円の減少であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は248億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億94百万円減少しました。その内訳は、流動負債が142億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億26百万円の減少となりました。主な増加要因は賞与引当金1億71百万円の増加であり、主な減少要因は支払手形及び買掛金7億73百万円、未払法人税等4億76百万円、短期借入金4億38百万円の減少であります。固定負債は106億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億68百万円の減少となりました。主な減少要因は長期借入金5億80百万円の減少であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は167億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億56百万円減少しました。その結果、自己資本比率は40.2%(前連結会計年度末は38.7%)となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績（通期）及び配当金につきましては、2024年5月14日に公表しました予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,664	7,301
受取手形及び売掛金	13,529	11,461
有価証券	0	0
商品及び製品	1,176	1,208
仕掛品	7,450	7,465
原材料及び貯蔵品	2,546	2,580
その他	773	833
貸倒引当金	△128	△152
流動資産合計	33,013	30,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,178	5,158
減価償却累計額	△3,578	△3,439
建物及び構築物(純額)	1,599	1,718
機械装置及び運搬具	2,741	2,573
減価償却累計額	△2,232	△2,179
機械装置及び運搬具(純額)	508	394
工具、器具及び備品	4,073	4,050
減価償却累計額	△3,503	△3,524
工具、器具及び備品(純額)	569	526
土地	4,025	4,025
リース資産	421	405
減価償却累計額	△234	△229
リース資産(純額)	186	175
建設仮勘定	499	523
有形固定資産合計	7,388	7,363
無形固定資産		
のれん	505	484
ソフトウェア	48	43
リース資産	103	105
電話加入権	20	20
その他	320	301
無形固定資産合計	997	954
投資その他の資産		
投資有価証券	1,655	1,735
長期貸付金	5	5
繰延税金資産	514	562
長期滞留債権等	244	330
その他	273	277
貸倒引当金	△266	△352
投資その他の資産合計	2,427	2,559
固定資産合計	10,814	10,877
資産合計	43,827	41,577

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,265	4,492
短期借入金	7,902	7,463
リース債務	82	76
未払法人税等	581	104
賞与引当金	406	577
製品保証引当金	68	67
未払費用	389	350
前受金	259	243
その他	708	862
流動負債合計	15,665	14,239
固定負債		
社債	2,550	2,550
長期借入金	6,861	6,281
リース債務	227	228
繰延税金負債	82	98
退職給付に係る負債	1,297	1,293
資産除去債務	44	47
事業整理損失引当金	2	—
その他	105	105
固定負債合計	11,171	10,603
負債合計	26,837	24,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,801	2,801
資本剰余金	3,697	1,931
利益剰余金	10,516	11,844
自己株式	△484	△484
株主資本合計	16,530	16,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153	227
為替換算調整勘定	269	377
退職給付に係る調整累計額	△1	△1
その他の包括利益累計額合計	421	603
新株予約権	37	37
純資産合計	16,989	16,733
負債純資産合計	43,827	41,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,792	5,430
売上原価	3,501	4,063
売上総利益	1,290	1,366
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	487	501
賞与引当金繰入額	58	42
福利厚生費	19	24
賃借料	49	51
業務委託費	44	24
研究開発費	77	103
減価償却費	55	58
その他	487	464
販売費及び一般管理費合計	1,279	1,272
営業利益	11	94
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
為替差益	72	55
投資有価証券売却益	—	13
受取賃貸料	4	3
補助金収入	40	0
持分法による投資利益	4	—
その他	9	23
営業外収益合計	132	98
営業外費用		
支払利息	23	32
投資有価証券売却損	2	—
持分法による投資損失	—	2
貸倒引当金繰入額	—	86
その他	5	4
営業外費用合計	31	124
経常利益	112	67
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	4
その他	—	0
特別損失合計	0	4
税金等調整前四半期純利益	112	62
法人税、住民税及び事業税	118	126
法人税等調整額	△31	△28
法人税等合計	86	97
四半期純利益又は四半期純損失(△)	25	△34
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	25	△34

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	25	△34
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	73
為替換算調整勘定	80	107
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	176	181
四半期包括利益	202	147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	202	147
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、2024年4月1日付でワイエイシイバイオ株式会社を新たに設立し、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

1 受取手形割引高及び手形流動化に伴う買戻し義務限度額

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
受取手形割引高	45百万円	－百万円
手形流動化に伴う買戻し義務限度額	305百万円	424百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	141百万円	160百万円
のれんの償却額	21百万円	21百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体・メカ トロニクス関連	医療・ヘルス ケア関連	環境・社会イ ンフラ関連			
売上高						
外部顧客への 売上高	2,140	1,516	1,134	4,792	—	4,792
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	0	13	14	△14	—
計	2,141	1,516	1,148	4,806	△14	4,792
セグメント利益 又は損失(△)	△10	180	△24	146	△134	11

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△134百万円は、各報告セグメントに配分しない全社収益及び全社費用であります。全社収益は主に各報告セグメントに帰属する連結子会社からの経営管理料等167百万円であります。また、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用△302百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

半導体・メカトロニクス関連において、J E インターナショナル株式会社及び株式会社GDテックの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、のれんが発生しております。当第1四半期連結会計期間におけるのれんの増加額は568百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体・メカト ロニクス関連	医療・ヘルスケ ア関連	環境・社会イン フラ関連			
売上高						
外部顧客への 売上高	2,546	1,290	1,592	5,430	—	5,430
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	0	2	2	△2	—
計	2,547	1,290	1,595	5,432	△2	5,430
セグメント利益 又は損失 (△)	173	49	△51	172	△77	94

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△77百万円は、各報告セグメントに配分しない全社収益及び全社費用であります。全社収益は主に各報告セグメントに帰属する連結子会社からの経営管理料等139百万円であります。また、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用△217百万円であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは急激に変化する市場のニーズにより柔軟に対応するため、各事業の成長のみならず、事業間シナジーの追求による成長促進を目的として、事業部門の組織改編を2024年5月14日付けで実施いたしました。これにより報告セグメントの区分を従来の「メカトロニクス関連事業」、「ディスプレイ関連事業」、「産業機器関連事業」、「電子機器関連事業」の4セグメントから、「半導体・メカトロニクス関連事業」、「医療・ヘルスケア関連事業」、「環境・社会インフラ関連事業」の3セグメントに改編しております。

なお、前第1四半期連結会計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。